

松戸市シルバー人材センター

はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第65号

会員数

男性	1,569人
女性	472人
2,041人	

令和2年11月末現在

編集・発行

公益社団法人
松戸市シルバー人材センター
〒271-0043
松戸市旭町1-174
TEL 047(330)5005
FAX 047(330)5008

松戸市シルバー人材センター
ホームページ
<https://webc.sjc.ne.jp/matsudo/>
E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

発行 令和3年1月1日

明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひ申し上げます

令和三年 元旦

●役員一同●



(他に、郡 正信 理事、小川 哲也 理事 計17名)

●地域班班長一同●



1班
村井 行雄



2班
河合 勉



3班
笠原 三男



4班
出口 信隆



5班
和田 喜六



6班
藤井 常治



7班
瀧崎 文夫



8班
棚井 友幸



9班
加茂 欣成



10班
大久保 慶治



11班
佐野 輝人



12班
笹森 英哲

謹賀新年



理事長 高尾司

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より松戸市シルバー人材センターに対しまして、市当局をはじめ関係機関や各事業所、市民の皆様方には格別なご理解とご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。現在、当センターを取り巻く社会環境は、昨年来のコロナウイルスの影響等による経済停滞に伴う就業受託件数の減少や、会員数の伸び悩みなど大変厳しい状況でございます。このような中、会員、役職員が知恵を出し合い、ひとつになつて、シルバー人材センターの理念であります「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、地域の皆様に親しまれ信頼されるセンターを目指し、地域社会に貢献してまいりる所存でございますので、皆様方の更なるご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝

とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

松戸市長
本郷谷 健次

明けましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。高尾理事長をはじめ公益社団法人松戸市シルバー人材センターの皆様には日頃より市政にお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。少子高齢化の進展や人生百年時代が到来するといわれている日本社会において、全ての人が元気に活躍し安心して暮らせる社会をつくっていくことが大変重要でございます。本市では、高齢者の皆様がいづまでも元気で暮らしていけるよう、健康寿命の延伸や地域共生社会の実現を目指し、今後も様々な施策を推進して参りますので、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様にとりまして、本年が幸多き年となりますよう祈念申し上げます。新年のご

挨拶といたします。

新年のご挨拶

松戸市議会議長
木村 みね子

明けましておめでとうございます。会員の皆様には清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

高尾理事長をはじめ松戸市シルバー人材センターの皆様には、高齢者の活躍の場として安定した事業運営を継続されておられることに、深い敬意と感謝の意を表する次第です。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で大変なご苦労をされたことと存じます。コロナ禍において皆様に安心して活動していただくためには、感染症対策を一層充実させることが必要と強く感じております。

皆様におかれましては、今後自主・自立・共働・共助の理念のもと、地域の発展のためご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、コロナの終息を願いつつ、本年が明るく幸せな年となりますよう心から祈念して、新年のご挨拶といたします。

新任理事からご挨拶

理事 小川 哲也

新年明けましておめでとうございます。大変な時期ですが、会員の皆様には、知識や経験を活かし、地域の発展・活性化のため引き続きご尽力頂きますようお願い申し上げます。ご健康とご多幸を心より祈念致します。(松戸市経済振興部長)

理事 山本 博之

新年おめでとうございます。

設立27周年を迎えた松戸市シルバー人材センター。更なる発展を目指し会員諸氏とのパイプ役となり、愛され、信頼される「松戸市シルバー人材センター」を目標にして日々活動してまいります。

理事 木村 次人

令和2年6月から理事になりました木村次人と申します。初めてのことと分らないことだらけです。少しでも皆さんのお役に立てればと思っております。所属は植木班です。どうぞ宜しくお願い致します。

理事 三井 勝次

退職後、体調を崩し、心機一転働くことを決意し、入会しました。今は仲間もでき、健康で充実した毎日です。働く喜び、健康の大切さ、地域活動等を通じ、

会員の健康維持、また入会者拡大とセンターの発展に取り組む所存です。

シリーズ 働くよろこび

多士済々2千人を超す才能と意欲ひしめく中から、今回ご登場は…

○鈴木由美子さんⅡ家事援助

「シルバーへ入る前ジムで本格的に体を鍛えました」と言う彼女には面食らった。入会に備えて周到に体調を整えたという人に、筆者は初めて出会ったからである。仕事先（家事援助）での身のこなしが軽やかに見えたのも道理である。入会してまだ1年半だが、その前2年ほどヘルパーを経験している。そこで腱鞘炎になり、1年休んでいた間にジムへ通って身体を鍛えた。現在は土屋長屋門の広い庭の手入れが主で、



3人で草取り、芝手入れ、剪定等をこなす。2か月で庭を一周、夏の暑

カピだらけの倉庫整理など耐力が試される仕事もした。「シルバーの私たちはそれぞれが商店主あなたにまた来てほしいって言われるときも嬉しいし、チャレンジは良い出会いを生む」と確信したと笑う。実家の神田淡路町で彼女はずっとトリマーをやっていた。ヘルパーの資格を取ったのも両親の介護に備えてのことだが、両親は手がかからず亡くなったので、その分一般人に尽くしていきたい、それが彼女のシルバー活動の基本にある。先ずは体力維持とウォーキングマシンやバランスボールを自宅に備え、今日も鍛える由美子さんである。

○成田昇さんⅡ梨栽培補助

わが国有数の梨の産地松戸。その一角、松飛台の山中梨園では今梨栽培の作業がまっ盛り。会員4人がお手伝いしているが、ご登場の成田さんもそのおひとりである。この作業は？「芽摘みですね。今（3月）は開花が始まったところですが、養分を効率よく使うように不要な蕾を摘み取るんです。」「摘蕾、摘花なんて専門的には言うらしい。この時期は木が一番養分を必要とするそうで、どこか人間の胎児の成長時期と似ている。」「翌



年の花まで摘まないように、その見定めが大切です。」「若い時父の跡を継いで工務店をやった関係で家のリフォームなんか得意中の得意。この花摘むとかこの枝切るとか慣れるのも早く、今は自分の判断で出来るので園主からほとんど任されている由美子さんに任せている由美子さんに入ると「いや、その後郵便局の手伝いや生保損保の代理店も長くやりました。シルバーに入って4年目ですが、何でも屋には色んな経歴が役立つようなのです。高齢者宅の草取りもやります。」「仕事で心がけていることは？「発注者の要望に忠実であること。何が求められているか、仕事にかかる前のコミュニケーションが大事です。終わってありがたいと言って言われたいですもんね。」「梨畑では今後4月半ばから5月にかけて、満開の白く可憐な花の中で受粉作業が始まる。7月になれば摘果作業、そして袋かけへと作業が続くが、人生のベテランには多忙がよく似合っている。（令和2年3月取材）



○永沼孝之さんⅡ公共施設清掃
小柄ながら軽快にモップをあやつる様子はとてもお若い。こ

こは皆さんおなじみの松戸市シニア交流センター。永沼さんはこの三階建てビル内の清掃を担当している。事業種は「公共施設の屋内清掃（継続）」。「メンバー5人が2人1組でローテーションを組んで、週に2、3回の割で回ってくる。」「職場が好きですね。仕事しているのが一番楽しい。時間が余ったらビルの周りの草取りなどもします。」「じっとしているのが苦痛という永沼さん。埼玉・行田の出身で、東京の専門学校で理容を修得したあと会社に就職。主に福利厚生にたずさわわり60歳定年後、継続で75歳まで警備の仕事をした。退職して3か月ほど家にいる間、娘さんを職場まで送ろうと車の免許を取得。家庭菜園にも手を染め、アトムシオケラ、コガネムシなど害虫と闘いながら各種野菜を収穫する楽しさを知った。そして5年前、物足りなくなつてセンターに入会し今の仕事に就いたという。忙しいのが自然体と夜は10時に

何があっても就寝。それで充実の一日が終わる。清掃のコツは？「床を濡れモップで拭いたあと、もう一度乾いたモップで拭くこと。床が濡れてると子供や高齢者が滑って転倒しますから。」趣味は？「会社時代は登山が好きで北ア、南ア、白馬、常念など3百回は行きました。今はバス旅行ですね」ほんとうは仕事が趣味、とその目は言っているようだった。

○染井秀雄さん 自転車駐車場誘導員

松戸市内の駅前で緑のチョッキと帽子姿で、自転車利用者駐輪誘導するのが主な業務です。1班7名で全17班、計119名で、1日の就業人数は各班4名。就業時間は3時間30分です。担当エリアは松戸市内の「常磐線全駅」「新京成線松戸新田駅」「五香駅間」「北総線全線」の各駅。毎日でなく月間就業日数は12日〜13日間です。夏の暑さ、冬の寒さがネックですが、班のみんなでカバーし、頑張っています。

○山本博之さん 単発作業

わが街お助け隊出動!! 今日地域のおちよつとした困り事を解決しています。

草取り

仲間と駐輪場の仕事の休みを利用して草取りの単発仕事をし



い言葉、そして「次回もお願いします」が励みになっています。



庭の枯葉を埋める穴掘りの依頼をいただきました。

福祉有償運送サービス

平成31年より事業が開始された福祉有償運送サービス。国土交通大臣が認定した『福祉有償運送運転者講習』と『セダン等運転者講習』の所定の課程を終了した運転者8名が、つねに従事できます。令和2年10月に入り急ぎよ2名の方のサービスの対応をさせて頂きました。1名は女性の方で病院への送迎です。ご自宅への迎車、病院までの送り届け、診察終了時点で再び病院へ迎えに行きご自宅まで送り届けました。もう1名は男性の病院送迎で、ご自宅への迎車、病院まで(松戸市以外)の送り約1時間の付き添い待機後にご自宅までの送り届け。拘束時間4時間、走行距離42キロの仕事でした。お客様を無事に送迎す



るといふ心労はありますが達成感が打ち消してくれます。サービス提供にあたって留意したことは新型コロナウイルス対策と、安全運転の励行、安心感、信頼感の提供です。乗降の際の扉の開閉は必ず運転者自身が行い、手を添えて介助する。急発進や急停車はしない。車内での声掛け(出発します、停車します等)、簡単な会話で親近感を得るようにし、また退屈させないための話題の提供(故郷の思い出話などが良かった)など配慮しました。

後日、利用者様から「マンションドアまで送迎してもらい助かりました」、乗降用踏み台も用意されて楽に乗り降りできました」と感想を頂きました。今回の経験をもとに今後もご満足頂けるよう精進していきます。(以上 編集委員筆)



地域班活動

○『昭和の杜博物館』を訪ねて

令和元年のある晩秋の一日、8・



9班の面々27名で東松戸(紙敷1377)の『昭和の杜博物館』を訪ねました。じつは近くの古民家『旧斎藤邸』と併せての見学会だったので、当博物館の展示物に対する会員の印象が殊のほか強かつたので、ぜひ皆さんにもご紹介させて頂きます。この博物館は、前年急逝された建設業の吉岡光夫さん(享年70歳)が、個人的な趣味から20数年かけて収集した情熱の成果です。館内に一歩足を踏み入れた途端、



映画『ALWAYS・三丁目の夕日』そのままの懐かしい『昭和』にタイムスリップ。コンテ

ッサやサンダーバードなど往年の名車がお出迎え。戦後の未舗装の道路を走り回ったオート三輪通称バタバタや、ダットサン、スバル360など今はなかなかお目にかかれない庶民の名車がズラリ。ちやぶ台返しで有名な円いちやぶ台は昭和40年代頃まで茶の間の中心でした。隣にはブラウン管の白黒テレビが主役は俺だと

鎮座し、アルミのド力弁に当時働き盛りの大飯喰らいを誇った会員たちの口元がほころびます。日用品の無数の小物から農具、携帯蓄音機、冷蔵庫、洗濯機、大は鉄道車両に至るまで、その数4000点以上が各人の思い出を呼び起こしてくれまます。家族の思い出の品を寄贈されたものや、中でも昭和初期の少年少女の血を沸かせた有名な挿絵画家小松崎茂氏の原画200点を受け継いだ特設コーナーが素晴らしい。同館学芸員・中村邦寿さん(70歳)の解説にうなずきながら、昭和の思い出に浸った楽しいひとときに、年を重ねるのも捨てたもんじやないと、全員納得の見学会でした。

(8班会員より聞き書き・山崎◎)

○定例会議を毎月開催

8班担当理事 林義雄

新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍の中シルバー人材センターの活動も縮小気味でありましたが、ソーシャルディスプレイを確保しながら、日々の活動を取り戻すべく頑張っていたのではないかと考えております。そんな中、私たちの8・9班は地域の会員とコミュニケーションを図るため、

市民センターを利用して、班長・副班長が集まり定例会議を毎月開催することができました。会議の中では、本部の情報(会員の入退会情報・経営情報・委員の情報等々)を報告したり、各班長からは会員情報や地域の顧客情報(特に作業をして困った事)を出し合い意見交換して参りました。2名の班長が会場確保から会議の進行、議事録の作成まで担当し、よく取りまとめていきます。これらの会議で発言された生の情報は、センター本部の委員会等で提案・報告として活用しております。また昨年の10月には、長年にわたる認知症サポーターのオレンジ協力委員として活動してきた8・2班の中村恒久副班長が、「わが町の認知症サポーターの活動事例」で全国キャラバンメイト連絡協議会から、(栗カフエ)全国優秀賞に選ばれました。郡正信松戸市福祉長寿部長が同協議会からの表彰状を栗カフエオレンジ協力委員を代表して中村恒久さん(80歳)に手渡しされました。地域班活動において、会員の皆様が各々に適した活動を今後とも継続して頂ければと願っております。

特集

コロナ禍の中で

鍛えたつもりが…

2班 根岸敦子

膝の故障で、大好きなバレエポールや登山をあきらめ、負担の少ないスクエアダンスに夢中になってきました。しかしコロナの影響でそれも自粛となり、どう過ごそうかと思いついたのが、江戸川土手のサイクリングでした。初めて目にする花や野草。家へ帰って本で調べては心が癒される日々でした。毎日自転車を漕ぐことで脚力もつき、走行距離もしだいに伸びました。ところがスクエアダンスが再開され、駅までわずか10分程度の歩きで、なぜか膝に痛みが出たのです。えーっ、自転車でも太ももはけっこう鍛えられた筈なのに、どうして…!!

夢膨らむ宇宙エレベーター

8班 今田尚俊

「宇宙エレベーター」とは文字通り地上と宇宙をつなぐエレベーターで、「軌道エレベーター」ともいう。赤道上空3万6千kmに打ち上げられた静止衛星から地上に向けてワイヤーやリボン

状のケーブルを伸ばしてゆく。伸びるにつれてケーブルが重くなって地球へ落下する。そこで地球と反対側にもケーブルを伸ばしバランスをとっていけば、やがて地球に届くはず、それが仕組みである。宇宙飛行士の山崎直子さんが宇宙へ行った10年前頃は宇宙エレベーターの課題山積だったが、その後建築業界大手の大林組がプロジェクトチームをつくってこの計画に参入。2050年には高層ビルのエレベーター並みの手軽な活用を目指したいと発表した。米航空宇宙局が専門家のエドワード博士に相談したところ、軽くて強度のあるロープなら建設可能とのこと。現在日本人が発見した炭素素材のカーボンナノチューブを利用して長いロープ作りが研究中と聞いている。宇宙エレベーターはロケットに比べて輸送コストの低減が主な目的だが、訓練等の事前準備も不要なうえに運搬量も多く、動力源も安価な太陽光発電でいける。これが完成すれば、その延長で月もちろん火星、土星旅行も夢ではなくなる。それまで生きていたものだが。

「生前戒名」を頂いた

5班 大谷敏博

この時代、いつどこで自分が何が起こるか判りません。そこで「何が起こっても大丈夫!」と万に備え、早々と「生前戒名」を住職から付けて頂きました。ちなみに生前戒名をつけると長生きすると言われていますが、今現在健康に留意し毎日頑張っています。常に前向きな気持ちで周りの人々へは気を使い、働くことが大好きです。体を動かし人と話して多少の頭を使い、これからも生き甲斐を持って生活していこうと思っています。

そこで一句
働けば生き甲斐感じ長生きに

理事会報告

◆第4回 令和2年9月30日

(会議内容)

- (1)承認事項
 - ・入会者の承認について
- (2)報告事項
 - ・各部会及び各委員会からの報告
 - ・専門部会関係
 - ◎専門部会等の活動状況報告
 - ・事業実施状況報告について
 - ・県連合会主催 令和2年度

高齢者人材確保育成事業について

(3)その他

◆第5回 令和2年10月30日

(会議内容)

- (1)承認事項
 - ・入会者の承認について
- (2)議案事項
 - ・議案第6号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター 令和2年度第2回収支補正予算について
- (3)報告事項
 - ・各部会及び各委員会からの報告
 - ・専門部会関係
 - ◎専門部会等の活動状況報告
 - ・事業実施状況報告について
 - ・未収金について
 - ・予算執行状況について
- (4)その他

事務局からのお知らせ

◆就業相談日

就業相談は毎月第3木曜日の午前中にセンター事務所で行っています。お気軽にご相談下さい。また、就業情報はセンター事務局前に掲示しております。

お願い

就業報告書の記入は、黒のボールペンでハッキリと。提出は翌月三日まで。それを過ぎると翌々月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。



今年もよろしく申し上げます。事務局一同

配分金支払日	
(令和3年)	
1月22日(金)	4月15日(木)
2月15日(月)	5月21日(金)
3月15日(月)	6月15日(火)

◆年に一度、松戸市の各種「検診」を受けましょう。特にガンは早期発見がポイントです。定期的な受診が早期発見につながります。

部会活動



◆事業部会の取り組みについて

事業部会長 染井秀雄
新型コロナウイルスの終息が

なかなか見えない状況の中での取り組みにはなりますが……

- ①民間企業、個人業務の獲得
- ②未就業者を減らし就業率を向上
- ③ローテーション就業とワークシェアリング就業の推進
- ④生活支援サービスにおける業務の獲得
- ⑤単発作業班の組織化について等を中心に活動していきます。すべての項目で多くの問題や困難を抱えています。事業部会員を中心に熟議し、よりよい方向で解決できるよう努めていきます。また会員の方々のご協力が必須であります。

◆地域に開かれた広報活動を

広報部会長 佐藤恵子

今年度から広報部会の部会長をさせて頂くことになりました。私もシルバーの会員となり8年になります。シルバーに入会し、多くの方と交流でき、仲間ができて、本当に良かったと思います。私の周りにもシルバーに入りたい、どうやったらいいのという声が多くあります。入会のチラシを届けたり入会説明会に同行し、入会した方が仕事ができて良かったと報告を受けると私も本当に嬉しく思います。まだまだシ

ルバーについて知らない人が多く、広報活動の必要性を感じています。駅の広報ラックへの配架を増やす取り組みや、イベント等でのチラシの配布、常にチラシを靴の中に入れ、興味のある方には手渡しを心がけています。高齢になっても仕事をしたいと思ってる人に、一人暮らしで仲間が欲しいと思ってる人に情報を届け、シルバー人材センターを多くの人に知っていたら、喜んでいただける人を一人でも多くするため、広報部、力を合わせて、これからも取り組んで参ります。

〈お客様の声〉

先日は、庭の手入れをありがとうございました。三人の方々の丁寧なお仕事を見て木や草花への思いやり暖かさをしみじみ感じ学ばせられました。ありがとうございます。毎朝庭に立つてすつきりした風情に心なぐさめられています。コロナの不安の中で人と人の声かけ、ふれあいの大切さを学んでいる私達は、自然との触れ合い、声かけの大切さを学ばせられていますね。皆様の健康を祈り、また来年お目にかかれるのを楽しみ

にしています。
植木剪定作業ご依頼主様より



チャレンジ
文芸

俳句

若井正幸(8班)
陽に霞み凍土ついばむ夫婦鳩
墓洗う彼岸の風の心地よき

室井正壮(2班)

健やかや寝覚めすつきり老の春
紺碧の空に煌めく冬ざくら
久し振り故郷に在り冬の梅
はらからの集ふ法事や春炬燵
香の満ちて紅白競ふ梅の園

松本有介(9班)

解されし蝶の円弧の昼下り
ミサ曲のピアニッシモや杉の花
桜餅系はぐすようにカウンセラ
博物館の休館札や残り花
微笑みの三極の花けもの道
ふらここや昨日の日記真っ白け

小倉美枝子(2班)

千両の紅珠に時告げにけり
春とおく二重マスクの旅は長し

短歌

根岸敦子(2班)
柿熟れてひまわり見頃我が庭は
どうしたことが夏秋混合

川柳

服部迪夫(4班)
ベット不可心をいやす金魚あり
情報の洪水上手く泳ぐ人
落語から学ぶ話芸のひと呼吸

老沼正一(12班)

孫の癖そつくりなのに涙ぐむ
躓いた石が笑った骨密度
日本の水が美味いと寄る港
ノーベル賞恋の道までばらされる
両日傘ジュエントルマンの二刀流
盆踊り笑顔が弾む外国語
方言の翻訳をする地の子供

大谷敏博(5班)

シルバーも気持は常にヤングマン
働らくは端を楽さす合言葉

詩

日課の朝の散歩道

林義雄(8班)

街路樹を通り抜け、常磐線の
トンネルを出ると富士川の散歩
道が一直線に延びる。木の葉の
色づきにも順番が有って、紅葉
のリレーを感じます。

ハナミズキのワインレッド!
イチョウの黄色に目を奪われる。
口について出てくる紋切り型
の表現にも真理がある。更に、
足を進めると坂川までの広大な
田園風景

そして、紺碧の空は大きく手
を広げて迎えてくれる。一直線
に進むと私の心は真っ青な天空
の中へと消えてゆく。
一人で歩くのも 誰かと歩く
のもいい 朝に冬を感じ、昼に春
を楽しむ そんな贅沢な季節であ
る。

その時、
万歩計は8千歩を刻んだ。

「賛助会員」の皆様

個人会員

- 戸張友子 小暮宣子
- 安藤美智子 田中英信
- 齊藤 實 梅本真
- 加藤頼子 佐々木雅子
- 山本哲央 藤原良子
- 傘木則夫

法人会員

- 松川産業株式会社
- 医療法人社団 葵会
- 介護老人保健施設 葵の園・松戸
- 有限会社 中田化成

(以上令和2年12月現在)

(敬称略)

「賛助会員」募集中

松戸市シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者に就業機会を提供し、生きがいの充実と福祉の増進を図っております。同時に多様な仕事をお引き受けして活力ある地域社会への貢献をめざしておりますが、何より地域社会の篤いご支援こそ必要です。そこで「賛助会員制度」を設け、皆様方のご協力を仰いでおります。つきましては本制度の趣旨にご理解ご賛同を頂き、本会員にご入会のうえ、センター事業の一翼を担って頂きたくお願い申し上げます。

年会費は次のようにさせていただきます。
○個人会員（1口） 15000円

○法人会員（1口） 30000円

ご入会後は会報「はつらつ松戸」を発行のつどお送りし、同紙にお名前を掲載致します。お申し込みの詳細は当センター事務局へご連絡ください。

◎連絡先 047・330・5005

同好会に入りに入りませんか

手工芸同好会

連絡先／高橋 久子（5班）

（電話367・2317）

■囲碁クラブ

連絡先／高橋 公（5班）

（電話364・2390）

■絵本読み語り同好会

連絡先／島田 忠巳（7班）

（電話341・3544）

■カラオケ同好会

連絡先／小林 久芳（5班）

（電話367・6579）

■松明健康麻雀クラブ

連絡先／金井 八重子（3班）

（電話360・0778）

松戸税務署からのお知らせ

「確定申告」について

◆申告書作成会場の開設期間は、

2月16日（火）から3月15日（月）

の平日です（2月21日及び2月28日の日曜日は開場します）。

◆ご来場の際は、感染防止策へのご協力をお願いします（マスクの着用、37.5度以上の発熱者の入場不可等）。

◆会場への入場には「入場整理券」が必要です。なお、入場整理券の配付状況に応じて受付を早めに締め切る場合があります。配付方法は、①会場で当日配付、②LINEアプリで事前配付（国税庁LINE公式アカウントを「友だち追加」）の2つです。

◎問い合わせ先 松戸税務署

TEL 047・363・1171

（自動音声に従い「2」を選択）

令和2年度発生事故件数16件

（派遣就業含む）

- ・ 傷害事故件数12件
内訳 就業中6件/就業途上6件
・ 賠償事故件数4件
（令和2年11月末現在）

平成31年度発生事故件数19件

- ・ 傷害事故件数12件
内訳 就業中8件/就業途上4件
・ 賠償事故件数7件
（平成31年同月比）

第66号原稿募集中!

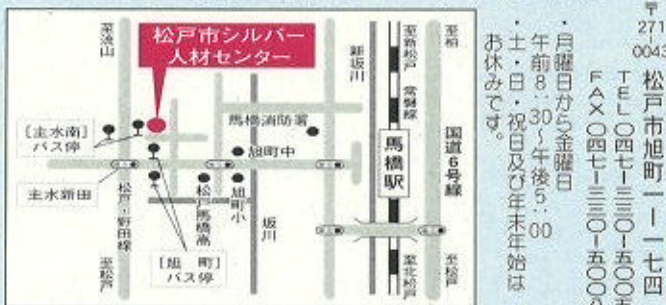
本紙5月発行号の原稿を募集します。新型コロナウイルスの感染猛威が収まらない中、「特集コロナ禍の中で」の募集は続けます。どう乗り切るか、皆様の知恵、意気込みをお寄せ下さい。シリーズ働くよろこびの自薦他薦もよろしく。他に班活動、写真、文芸なども従来通りです。意欲溢れる「作品」をお待ちしています。令和3年3月11日締切。（会報編集委員会）



編集後記

「神は細部に宿る」という言葉が好きで勝手に座右の銘にしている。西欧の作家が建築家の言葉らしいがはっきりしない。細かい部分までこだわり抜いて作られた作品は優れているという意味だが、考えてみればシルバーの草取りもガラス拭きも自分の作品だ。そう思うと銘に見張られていようやうで手が抜けない自分のようなズボラな人間には尻を叩くに適した言葉だが、仕事の切り上げ時の判断が実に悩ましい。（編山崎）

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター



※県立馬橋高等学校を目印にお越し下さい。JR馬橋駅西口より徒歩25分 JR馬橋駅西口発(京成バス)松戸駅行き 加町下車3分